
日本放送協会 理事会議事録

(平成30年10月16日開催分)

平成30年11月 2日(金)公表

<会議の名称>

理事会

<会議日時>

平成30年10月16日(火) 午前9時00分～9時10分

<出席者>

上田会長、堂元副会長、坂本専務理事、児野専務理事・技師長、
松原理事、荒木理事、中田理事、鈴木理事、松坂理事、今井特別主幹
高橋監査委員

<場所>

放送センター 役員会議室

<議事>

上田会長が開会を宣言し、議事に入った。

付議事項

1 報告事項

(1) NHK情報公開・個人情報保護の実施状況(2018年度上半期)

議事経過

1 報告事項

(1) NHK情報公開・個人情報保護の実施状況(2018年度上半期)
(情報公開センター、NHK情報公開・個人情報保護審議委員会事務局)

2018年度上半期のNHK情報公開・個人情報保護の実施状況について報告します。

1点目は、情報公開の実施状況についてです。

2018年度上半期は、4人の視聴者から7件の「開示の求め」を受け付けました。前年度同期の16件から9件減少しています。7件の内訳は、放送が5件、経営が1件、総務・経理が1件となっています。「開示の求め」に対する判断結果は8件で内訳は、開示が3件、一部開示が1件、対象外が4件でした。対象外とした4件はいずれも放送番組の編集に関する文書で、番組編集の自由を確保するという観点から、対象外としました。「開示の求め」の受付件数と「開示の求め」に対する判断結果の件数に差があるのは、受付時期と判断時期が多少異なるためです。

続いて、NHK情報公開・個人情報保護審議委員会（以下、「委員会」）の審議状況についてです。この委員会は、NHKが行った当初の判断に対して「再検討の求め」が出された場合に、客観的な立場からNHKの判断をチェックし、その結果をNHKに答申する第三者機関です。

上半期の「再検討の求め」の受け付けは1件で、前年度同期から2件減少しています。委員会は上半期に5回開催され、前年度からの継続案件を含む2件について諮問しました。1件は「当初の判断どおり一部開示・不開示が妥当」とする答申で、もう1件は「一部開示の範囲を広げることが妥当」とする答申でした。NHKはすべての事案について、答申の通りに最終判断を行いました。

2点目は、個人情報保護の実施状況についてです。

個人情報の漏えいは2件でした。いずれも営業に関わる事案で、個人情報を含んだ帳票を紛失したものです。NHKはお客さまに直接または文書でお詫びと説明を行いました。漏えい事案は、いずれも放送セキュリティセンター（SARC）に報告し、再発防止策を実施するとともに、NHKオンライン上で公表しています。また、漏えいに至らなかった紛失・盗難はありませんでした。

個人情報の「開示等の求め」は、前年度同期から1件増の11件ありました。上半期中に行った判断結果は、開示が7件、一部開示が2件、不開示が1件でした。「再検討の求め」の受け付けは1件で、前年度からの継続案件を含む2件について委員会に諮問した結果、いずれも、「当初の判断どおり一部開示・不開示が妥当」とする答申でした。

本件は、10月23日開催の第1316回経営委員会に報告します。

以上で付議事項を終了した。

上記のとおり確認した。

平成30年10月30日

会 長 上 田 良 一